

田辺市・橋本市での NPO 出張相談

和歌山県 NPO サポートセンターでは以下の 2 力所で毎月 1 回、NPO 出張相談会を開いています。**NPO 法人設立・運営・役員変更・定款変更・認定 NPO 法人等に関する様々なご相談を受け付けています。**ご利用は無料ですが、事前に各センターへ団体名・相談内容等をお知らせいただき、予約をお願いします。なお、1 件あたりの相談時間は 1 時間以内です。

田 辺 市

田辺市市民活動センター

■相談日：原則毎月第 2 金曜日の 10 時半～16 時
■場 所：田辺市民総合センター 1F
■相談予約電話番号：0739-26-9833（FAX 同番号）
■対 象：田辺市を中心とした紀南エリアで活動中、または活動しようとする団体

橋 本 市

橋本市市民活動サポートセンター

■相談日：原則毎月第 2 水曜日の 10 時～16 時
■場 所：橋本市保健福祉センター 2F
■相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX：0736-33-0095
■対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

★日程は都合により変更になることがありますので必ずご予約ください。
★上記とは別に、オンラインによるご相談、概ね 5 名以上のグループを対象とした県内出張 NPO 相談も実施しています。

和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

■ NPO・ボランティア団体のための助成金講座

NPO・ボランティア団体の課題のひとつは「資金」。外部の助成金や補助金を獲得することで、解決を図ることが期待できます。助成金・補助金とはどのような性格のお金なのか。獲得に必要なコツは。助成金情報を多数扱っている NPO サポートセンターの視点でご紹介します。

【日 時】9 月 25 日（水）13:30～15:00

【場 所】和歌山ビッグ愛 9 階会議室 C・YouTube 見逃し配信

【講 師】和歌山県 NPO サポートセンタースタッフ

【参加費】無料

【申込み】会場参加、見逃し配信とも申し込みをお願いします。右の QR コードからお願いします。



■ 長尺プリンタ印刷代行を受け付けています

和歌山県 NPO サポートセンターでは、長尺プリンタの「代行印刷」事業を実施しています。

【1】センターの利用団体登録がまだの場合は登録をお願いします（電子ファイルのメール送付で可能です）。

【2】原稿と申込書をセンターにお送りください。印刷後、筒に入れて事務所等にお送りします。

Word または PowerPoint で作成される場合は専用のテンプレートがあります。A1 サイズを超える PDF 形式の場合は幅 610mm とし、実寸サイズで作成ください。

【3】料金を銀行振り込みでお支払いください。料金は①印刷費実費（1mにつき 100～200 円が目安）と②送料（印刷物の重さにより異なります）に手数料 700 円（税込）を加えた額です。

NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9F）
TEL：073-435-5424 FAX：073-435-5425
メール：info@wakayama-npo.jp URL：https://www.wakayama-npo.jp/
受付時間：火曜日～土曜日 9:00～20:50 日曜日 9:00～17:30
休館日：月曜日・祝祭日・年末年始（12/29～1/3）

【指定管理者：認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 生活局 県民生活課（和歌山県庁本館 2F）
TEL：073-441-2053 FAX：073-433-1771
メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp
URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

〔本紙は古紙再生率 70%以上の再生紙を使用しています〕

和

になろう 県内で市民活動を行う団体や人を紹介します

NO.75 冒険シャボン玉研究所

県内外の公園などで週末に巨大シャボン玉の実演をしている団体「冒険シャボン玉研究所」。月に 2、3 回程度、手作りした器具でパフォーマンスし、シャボン玉作りの体験も行っています。代表の金川佳史さんにお話をうかがいました。

その名の通り「シャボン玉」で楽しむ

「綺麗なシャボン玉を見たり割ったりして楽しもう!」。冒険シャボン玉研究所は和歌山県北部と大阪府南部を中心に活動し、週末や祝日に合わせて公園などの屋外フリースペースでシャボン玉の実演を行っています。観覧は無料で、その場にいれば申込不要で誰でも参加可能です。長さ 3 メートル以上にもなる巨大なシャボン玉や細かいシャボン玉が無数に飛ぶ光景



夜開催の様子。ライトアップで幻想的です

に、居合わせた子どもたちは大はしゃぎでとても楽しそうです。親しみやすさをもってもらうため、金川さんはキャラクター物の帽子を着用し「シャボン玉おじさん」としてパフォーマンスしています。

シャボン玉実演以外にも

元々、青少年の健全育成活動をしている和歌山市 BBS 会に所属していた金川さん。2005 年には「冒険あそび倉庫」という団体を立ち上げ、地域のコミュニティセンターで木工工作や化学知識を応用したサイエンスキッチンなど子ども向けに様々な体験教室を開催する活動をしていました。しかし、少子化やそれに伴うライフスタイルの変化、ゲーム機器や通信技術の発展による遊びの選択肢が広がっていきな、冒険あそび倉庫に来る子どもは減少傾向に。そこにコロナ禍という追い打ちもあったことで、多い時には 30 人程度集まっていた参加者も数えるほどになってしまいました。

時代の流れに合わせて

そんななか、2022 年春から活動し始めた冒険シャボン玉研究所。屋外の広い空間でのパフォーマンスが可能で見ただけでもワクワクできる、ソーシャルディスタンスが求められる時代でこれ以上ない楽しいイベントを演出できるという狙いがありました。開催回数を重ねるごとに認知度も高まり、岩出市のさぎのせ公園での開催時はのべ 1000 人の観覧者が集まったといいます。全国的なブームも重なったことで、SNS の告知を見て何度も来てくれる親子や、ウェブサイトを通して寄付してくれる人も増え、最近では公演依頼がくることもあり、イベントはいつも盛況です。



他イベント内でコラボ開催も（第 56 回 紀州おどり「ぶんだら節」にて）

子どもたちのために

シャボン玉実演と並行してフードパントリー活動を行うなど、根本にあるのは子どもたちの「社会で生きる力」と「夢を実現する力」を育て、助けになりたいという気持ちだという金川さん。過去に冒険あそび倉庫に参加してくれていた子どもたちが大人になってスタッフとして活動に協力、自らの発案で一緒にイベントを盛り上げてくれることも。たくさんの子どもたちに楽しい体験を提供し、こどもに寄り添う活動を続けていきます。



小学生で手伝ってくれるスタッフのイベントレポート

冒険シャボン玉研究所

〒640-8472 和歌山市大谷 109-18
TEL: 050-7116-0797（24 時間音声案内 冒険あそび倉庫兼用）
Instagram https://www.instagram.com/bouken_bubble/

INDEX

表紙：冒険シャボン玉研究所

p.1：特集 今年こそ、会計をきちんととめる

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金＆公募情報

p.3：和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

特集 今年こそ、会計をきちんとまとめる

和歌山県 NPO サポートセンターに寄せられる各種ご相談をみると、まれに、日頃から会計がきちんととりまとめられていないのでは、と思われるケースが見受けられます。会計は団体の信頼性に直結します。いまのうちに、そして今年こそ、会計の取りまとめ方を確認しておきましょう。

経費の立て替えは特に注意

活動に必要な物品等を理事やスタッフの自費で立て替え購入し、後日団体のお金から精算するという手法はよく使われています。この際に、レシート等を紛失したり、自分の買い物のレシートと混在してしまったりして、それが団体の経費なのかわからなくなってしまわないように注意が必要です。

レシートや領収書はいつ、どこで、何を購入したのかを証明する書類です。きちんと区別できるように保管しましょう。レシートや領収書の裏面や余白に、購入した物品の用途や補足情報などをメモしておくことで保管や整理の時に役立ちます。

また「団体の財布」は「個人の財布」と厳密に区分し、取引が混在しないようにすることも重要です。

しょうひょう 証憑書類は整然とまとめる

レシートや領収書、請求書、入金伝票などお金の出入りの証拠となる「証憑書類」はきちんと整理することが大切です。例えば複数の事業を展開しているなら事業ごとに、また費目ごと・月ごとなど、団体のお金の出入りの状況に応じて整理方法を決めてまとめましょう。

また、会計の費目も統一しましょう。NPO 法人会計基準では、どのような支出がどの費目になるのか例示をしていますので、参考にしてもいいかもしれません。

補助金や助成金などの外部資金を活用した事業では、実績報告の際に証憑書類のコピーの提出が求められることがあります。この際、領収書やレシートなどを重ねて保管していると、コピーするのに苦労しますので、なるべく重ねないように。さらに、購入した店舗や日付、金額、購入した物品等が明確ではない領収書のコピーは実績報告に使えないケースが多いので注意が必要です。

助成金事業・消耗品

助成金事業

事業ごと、費目ごともしくは月ごとなどきちんと順番を決めて整然と保管する

電子帳票はルールを決めて保存

最近インターネットや電子メールなどで領収書などが発行されるケースも少なくありません。2022 年 1 月に施行された改正電子帳簿保存法は、法人税の課税対象になっている NPO 法人は原則対象となります。

「わか愛愛」2021 年 11 月号でもご紹介していますが、電子取引情報は電子データでの保管が義務付けられています。請求や領収などに関する電子データの改ざんを防ぐ対策を講じる必要があります。スマートフォン決済やインターネット決済による取引等の場合はその決済したことがわかるスクリーンショット等でも問題ありません。電子データは、取引先・取引年月日・取引金額で検索できる必要があります。バックナンバーはこちらの QR コードからご覧いただけますので、一度ご確認ください。



こまめにまとめ、確認する

会計はコツコツまとめるのが得策です。時間が経過すると、記憶はだんだんと薄れてしまい、せっかくのレシートや領収書のメモの意味がわからなくなることもあります。例えば「毎月第 1 月曜・第 3 月曜を会計チェックの日」などのように定め、立替金の精算、レシートや領収書の整理、帳面への記帳をまとめておこなう、といったように習慣づけるとよいでしょう。

また会計担当者 1 人だけがチェックするのは避けましょう。人間はどうしてもミスをしてしまいます。パソコンを併用しても入力を間違っていれば結果は変わってきます。ミスを防ぐためにも、会計担当者に過大な責任が及ばないためにも、会計は複数人でチェックする体制が重要です。例えば会計担当者が証憑書類をもとに作成した会計書類を事務局長や責任者などが確認し、仮にミスや部門の振り分けの誤りなどがあった場合はすぐに修正します。

こうした作業をこまめにおこなうことで、事業終了後に会計の取りまとめで慌てることなく期待できます。

証憑書類をもとに収支をまとめる

会計担当者

まとめた資料を確認し誤りがないかダブルチェック

団体責任者

新規設立 NPO 法人

◎NPO 法人和歌山心不全アラート（和歌山市）
2024 年 6 月 13 日認証 代表者 谷本 貴志
われわれは心不全療養の質を向上させるため、医療・介護の多職種が

このコーナーでは、前号発行以降に NPO 法人の新規設立認証を受けた NPO 法人をご紹介します。

連携し、顔の見える関係で地域連携を深めていきます。地域オリジナルの和歌山心不全手帳を活用し、心不全患者さんの役に立つことを目的に活動していきます。
メール tmkktanimoto@gmail.com

助成金 & 公募情報

2025 年度 日本万国博覧会記念基金助成事業

【対象事業】 1970 年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な「国際相互理解の促進に資する活動」および「文化的活動（2025 年大阪・関西万博特別助成事業のみ）」
【助成区分】 一般助成事業…国際交流に寄与する活動、国際協力に寄与する活動および教育に関する国際的な活動：100 万以上 500 万円以下、学術に関する国際的な活動：50 万円以上 500 万円以下
2025 年大阪・関西万博特別助成事業…国際相互理解の促進に資する活動としての公演・展示・国際会議・招聘・派遣：100 万円以上 500 万円以下、パビリオン・催事場などへの出展や特に助成の効果が大きいと判断するもの：100 万円以上 1500 万円以下、文化的活動：助成対象事業費合計額の 3/4 以内かつ 50 万円以上 500 万円以下
【募集期間】 9 月 1 日（日）～9 月 30 日（月）消印有効
【主 催】 公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会
【備 考】 詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<https://osaka21.or.jp/jecfund/information/>

公益財団法人 JKA 2025 年度 補助事業

【対象事業】 福祉機器・医療機器の整備、福祉車両・検診車・就労支援機器・施設等の整備、その他公益増進・社会福祉増進にまつわる事業を実施するための費用
【補助金額】 対象事業により補助率や補助上限金額が細かく設定されています。また事業により、対象となる団体・法人格も異なりますので、募集要項を十分確認してください。
【締め切り】 事業によるのでご確認ください
【主 催】 公益財団法人 JKA
【備 考】 詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

花王ハートポケット倶楽部助成事業

【対象事業】 和歌山県内で活動する NPO・ボランティア団体（法人格の有無は不問）による、これから始めたい、または充実させようとしている「地域コミュニティに主体的に関わる事業」
【助成区分】 スタートアップ助成…設立 2 年以内の団体
助成額 5 万円、4 団体
パワーアップ助成…設立 2 年以上の団体
助成額 10 万円、3 団体

和歌山子ども食堂支援事業補助金

【対象事業】 子ども食堂の新規開設の場合…①設備及び備品購入費、②施設改修費、③食品衛生責任者養成講習会受講費、④学習支援に要する経費、⑤多様な世代交流に要する経費
子ども食堂の機能強化の場合…上記④・⑤の経費
【補助金額】 新規開設の場合…①～③で上限 40 万円、④・⑤で上限 20 万円、機能強化の場合…上限 10 万円
【募集期間】 12 月 20 日締め切りですが、予算に達し次第終了
【主 催】 和歌山県子ども未来課
【備 考】 詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040200/kodomoshokudo/unei.html>

【各種情報はメールマガジンでも配信中！】

和歌山県 NPO サポートセンターに届くイベント情報や助成金情報等を毎月 1 日・15 日（休館日等と重なる場合は翌開館日）に発行しているメールマガジンはこちらの QR コードから配信登録ができます。または info@wakayama-npo.jp へ配信を希望するメールアドレスをお知らせください。

みなさんからのイベント情報もお待ちしています。和歌山県 NPO サポートセンターまでメールまたは FAX 等でお知らせください。なお、メールでチラシ等の電子データをお送りいただきましたら、そのデータをそのまま情報ブログに掲載させていただくことができます。ぜひご活用ください。

【和歌山県 NPO・ボランティア団体データベース登録受付中】

和歌山県 NPO サポートセンターでは、和歌山県内で活動する NPO・ボランティア団体のデータベースを運用しています。団体名や活動紹介のほか、所在地や活動分野、取り組む SDGs の目標、ボランティア募集・寄附金募集などで絞込検索が可能。データベースに掲載いただきますと、仮に団体としてウェブサイトや SNS などを開設していなくても、団体情報がインターネット検索で調べられやすくなります。ぜひ登録ください。また既に掲載されている団体のみなさんで記載内容に変更等がある場合もお知らせください。

データベースの閲覧は右上の QR コードから。データベースへの新規登録もしくは掲載情報の修正は右下の QR コードから登録フォームをご利用ください。

